

企画上映

『20 世紀ノスタルジア』 バリアフリー上映のお知らせ

国立映画アーカイブでは、『20 世紀ノスタルジア』(1997 年)のバリアフリー上映を行います。

聴覚障害の方向けの日本語字幕と、映画の音声を増幅するヒアリンググループシステム座席をご用意しています。また、視覚障害の方向けの音声ガイドを FM 配信し、ラジオ貸出もいたします。

目や耳の不自由な方も、日本映画の名作と一緒に楽しみいただける機会となります。多くの方にお知らせしたく存じますので、ぜひとも周知にご協力賜りますようお願いいたします。

概要

『20 世紀ノスタルジア』 バリアフリー上映

聴覚障害の方向けの日本語字幕投影とヒアリンググループシステム、視覚障害の方向けの音声ガイドをご用意しております。

日時:2025 年 3 月 15 日(土)13:00 の回 (12:30 開場)

会場:国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU(2 階)(東京都中央区京橋 3-7-6)

料金:障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則 1 名まで)は無料

HP:<https://www.nfaj.go.jp/film-program/women202502/>

協力:Palabra 株式会社、社会福祉法人聴力障害者情報文化センター

(※詳細につきましては国立映画アーカイブの HP をご覧ください。)



『20 世紀ノスタルジア』

1997 年/93 分/35mm フィルム上映/監督:原将人/製作:佐藤美由紀
1960 年代に 16mm で鮮烈なデビューを果たした映像作家・原将人が、若者たちがビデオカメラを持つ時代に 2 人で映画を作りながら恋に落ちていく高校生男女を捉えた実験的恋愛映画。当時シナリオを読んだ、オフィス・シロウズの若手・佐藤美由紀の「これ、絶対に映画にすべきですよ」の一言で映画化が動き出したという。佐藤は本作でプロデューサーデビュー。衣裳デザインの小川久美子は雑誌『anan』等のスタイリストを経て映画界入り。相米慎二監督作品や『キル・ビル』2 部作(2003-04)などが代表作。

予約方法

ヒアリンググループ座席と音声ガイドラジオ貸出は、メールまたは FAX による【事前予約制】です。

また、聴覚・視覚障害の方で、字幕でご覧になる方やラジオとイヤホンを持参される方も、お席の予約を受付いたします。(席数や貸出ラジオ台数には限りがございます。お早めにお申し込みください。)

<記入事項>

件名:「字幕/ヒアリンググループ/音声ガイド」の中からいずれかをご記入ください

内容:

①来場者全員のお名前(付添者は人数だけでも可)

②希望席数/ラジオ希望台数

③返信用連絡先(当日も連絡がとれる電話またはメールアドレス)

※個人情報上記の目的にのみ使用し、使用後は適切に破棄します。

◎ヒアリンググループ座席をご希望の方は、磁気コイル付補聴器(“T”マーク付補聴器)をご持参下さい。

◎ほじょ犬(盲導犬・聴導犬)の同伴入場可能です(予約時にお知らせください)。

申込先:【メール】assist@nfaj.go.jp 【Fax】03-3561-0830 国立映画アーカイブ上映室 宛

申込期間:2025 年 2 月 25 日(火)ー3 月 12 日(水)(※定員に達し次第、締め切ります。)

〔本特集に関するプレス用の問い合わせ先〕

国立映画アーカイブ(上映室) MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830